



発行 青葉区民会議

事務局 〒225-0024 横浜市青葉区市ケ尾町31-4 青葉区役所区政推進課広報相談係内

Tel:045-978-2221 Fax:045-978-2411 Email:mail@aobakuminkaigi.com

URL:http://www.aobakuminkaigi.com/ または「青葉区民会議」で検索

入手先：青葉区役所、地区センター、ケアプラザ、区民活動支援センター、図書館、区民利用施設など

青葉区民のつどい

「まちづくり素案」検討会開催

9月17日(土)

午後2時～4時 青葉区役所4階

(開場1時30分) (401～403会議室)

青葉区のまちづくり基本計画「青葉区まちづくり指針*」が発表されて10年たちました。

青葉区民会議は、その検証や環境変化にあわせた見直しを目的に、「青葉区民アンケート(1000人アンケート)」「青葉区民のつどい」など広聴活動やさまざまな調査活動を行い、ここに新たな提案「すべての世代が住み

続けたいまち 青葉」の素案(まちづくり素案)をまとめるに至りました。

青葉区民会議では、青葉区や横浜市へ提案する前に、区民のみなさんにご案内し検討していただくため、「青葉区民のつどい」を開催いたします。どうぞご参加のうえ、ご意見をいただきますようお願いいたします。

*「青葉区まちづくり指針(横浜市都市計画マスタープラン青葉区プラン)」は区民や各種団体、有識者の意見をもとに将来の青葉区＝2020年頃の青葉区の姿を想像して平成14年に策定されました。<http://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/00life/10machi/toshi.html>

まちづくり素案の概要は以下のとおりです

子育て

- * 待機児童ゼロへの道
- * 遊び学べる公共施設

自然環境

- * 緑視率指標の導入
- * 街路樹保全事業の拡大
- * みどりアップ計画の進め方
- * 市街化調整区域の開発と自然環境保全
- * 川の自然に親しむ施策の推進

まちづくり

- * 高齢者にも便利な生活空間
- * 公園を軸とした多世代が集えるまちづくり
- * 正しい医療情報で安心なまちづくり

防災

- * 災害に強いまち1：電線地中化
- * 災害に強いまち2：耐震対策



「まちづくり素案」の見方を紹介します・・・P4

まちづくり素案(提案「すべての世代が住み続けたいまち青葉」の素案)は青葉区民会議のホームページから見るができます。また同資料は青葉区役所1階広報相談係でもお渡ししています。

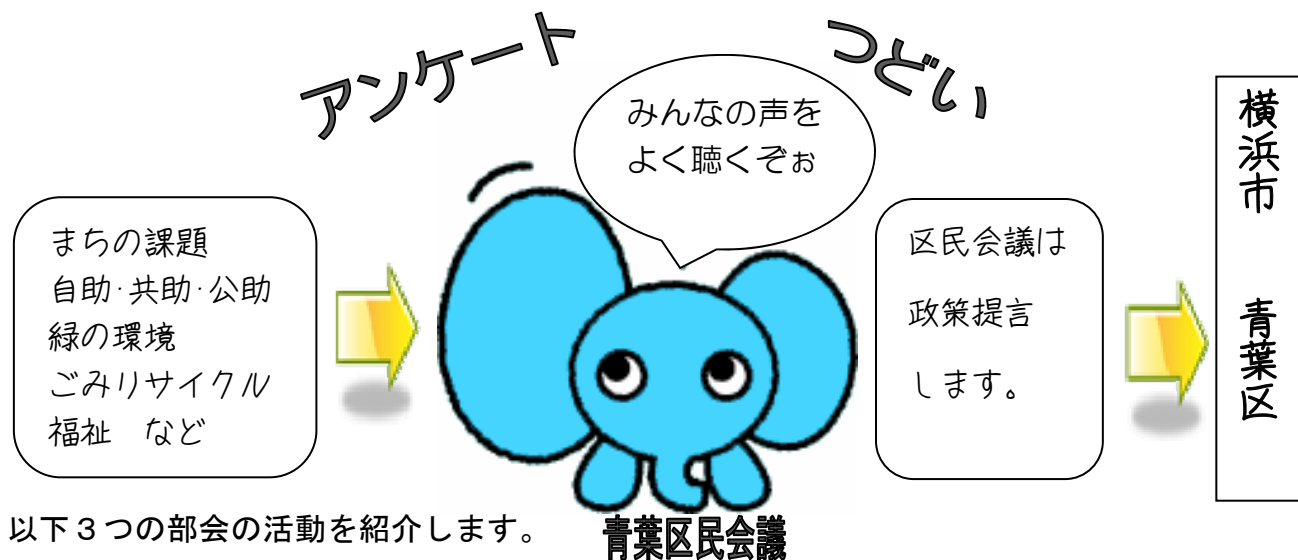
区民会議の活動を紹介します・・・P2・3

今は、50名余のメンバーが青葉区民の「思い」を実現しようと3つの分野に分かれて活動しています。そんな姿を紹介します。

区民会議は17歳…まちづくりに参加しませんか

青葉区民会議では住みたいまちをめざし、区民の要望やニーズを調べ、横浜市や青葉区に提言を行っています。身近な要望やニーズが明確になったとき、みなさんの生活やまちづくりに関係のある施策や計画について情報を集め、勉強や課題解決の検討をします。区役所や市役所の職員から説明を受けたり、意見交換をします。また、「区民のつどい」や「シンポジウム」等で区民のみなさんと話し合う場を企画します。それらを通して実現可能な案としてまとめ、毎年、継続的に横浜市予算（事業計画）に対して政策提言を行います。

青葉区に暮らす市民として身近な課題をいっしょに考え、まちづくりに参加しませんか！



自然・環境部会では

<自然と環境の勉強会> 部会は17年続いています。毎月1回（今は第2月曜18時）集まって、情報交換や課題の勉強をします。



18名みな「素人＝普通の区民」ですが、青葉区の自然の維持については「思い」を持って活動しています。



<自然観察活動> 年数回青葉区内はもとより、近隣の自然環境を観察しています。最近近隣では、舞岡、生田緑地、道志村などを観察しました。暑い中の観察活動を終えた後の、冷たい飲み物を飲みながらの「反省会」は密かな楽しみです。



ました。暑い中の観察活動を終えた後の、冷たい飲み物を飲みながらの「反省会」は密かな楽しみです。



<まとまった緑の保全> 寺家ふるさと村や川沿いの農地、点在する緑地などです。都市計画制度・農地制度・緑地保全制度などで守られておりますが、多くが私有地であることから立入る難しさもあり、勉強のやり甲斐があります。



<まちの中の緑の保全> 青葉区は横浜市18区の中で、公園の数や街路樹の本数が一番多い区です。また個人住宅の緑にも恵まれており、



これらが青葉区の魅力を高めています。しかしこれら緑の維持には、絶えざる努力が必要となります。



健康・福祉・教育部会では

健康づくり、福祉問題（高齢者福祉、障がい者福祉）、教育問題（子育て、学校教育、食育）と幅広い分野を対象に活動しています。

活動は

テーマ毎の各種勉強会実施
 さまざまなデータの収集と分析
 区民の意識や考え方の把握のためアンケート実施
 問題点の把握や実態調査のため施設見学の実施

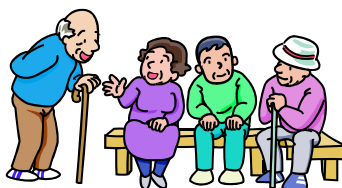


こんな提言を

- ・青葉区内への特別支援学校(養護学校)の新設
- ・福祉人材(介護職員やヘルパー)の処遇改善
- ・学校支援に関わる人の情報交換の仕組みづくり
- ・子育て世代向けの生涯学習講座の拡充

見てきました 施設見学

県立麻生養護学校
 県立麻生養護学校元石川分教室
 デイサービスセンター青葉台(小規模多機能福祉サービスセンター)
 横浜シルバープラザ(老人保健施設)
 緑の郷(特別養護老人ホーム)
 ビオラ市ヶ尾(小規模特別養護老人ホーム)
 グランケアあざみ野(有料老人ホーム)
 未来倶楽部青葉田奈(有料老人ホーム)



安全・安心・まちづくり部会では

本部会では防災・防犯・交通の分野で政策提言等の活動をしています。

今回は、東日本大震災(3.11)発災時の青葉区への対応について総務課佐藤危機管理担当係長にお聞きしました。



開庁時間内に震度5強(青葉区は5弱)の揺れがありましたか？

- ・震度5強という発表と同時に災害対策本部が立ち上がりました。
- ・庁舎内では来庁者の安全確保を最優先とし、安全な場所への誘導、安全確認の後、順次帰宅していただきました。また気分不良を訴えた方が数人いらっしゃいました。



青葉区内で確認された被害状況は？

- ・屋根の瓦の落下や壁のひび割れなどの物的被害 11件
 - ・落下物によるケガや停電の影響による人工呼吸器の不具合等で救急対応などの人的被害 3件
- *罹災証明発行等の申請数による把握のため、実際の被害はこれよりも多いと思われます。(5月2日現在)



佐藤係長



市内には液状化がみられた箇所があると聞きましたが？ また、耐震対策が済んでいない建築物や構造物の状況も気になりますか？

- ・港北区や金沢区で液状化の被害がありましたが、青葉区での被害はありません。その他、区内の公共施設等の被害状況は、関係部署において現在調査中です。



交通機関がストップしました。帰宅困難者への対応は？

- ・駅等での滞留者に関しては職員を派遣して必要に応じて誘導等の対応をしました。
- ・区外からの帰宅困難者となった区民に関しては、留守宅問題(子供・要介護や看護)として、対策が今後の課題と認識しました。「支えあいカード」の普及も含め、地域での助け合いのしくみ作りが必要です。



3.11当日は停電もありました。身近な情報の必要性を実感しました。入手する手段に課題がありますね。「いざ!という時」に地域防災拠点開設を判断する委員への連絡体制も周知されていないと思いませんか？

- ・情報の受発信や伝達の方法、あらゆる場面での情報の流通の整備は課題と認識しています。



区民会議が要望していたエリアメールの運用が6月から開始されることになりましたか？

- ・身近な情報をより早く伝えることで備えることが可能となります。被害の軽減ができればと考えます。



青葉区内での発災時の状況を知ることができました。留守宅問題や、防災行政無線のない横浜市での緊急情報の入手・伝達方法は早急に考えねばと再認識しました。また、被害を想定した学校/地域(家庭)/拠点連携の防災訓練が必要です。震災当日の行動や被害や困ったことについてアンケート調査を行います。安全で安心な青葉区になるよう要望・提言をすると共に、自助や共助を強固にするような情報を発信していきたいと思えます。

わたしたちのまち住みやすくするのは-わたしたち

青葉区民会議のホームページを紹介します。
「青葉区民会議」で検索してください。



「青葉区民のつどい」
についてはここ

1ページで案内の「まちづくり素案」は
ここをクリック！！

まちの未来プロジェクト
の提案内容の詳細！

区民アンケートも実施

要望・提言は
年度別に回答
と共に掲載

区民会議は他の区にもあります
他区との交流も行っています

活動トピックスです！



区民会議には、いつからでも参加できます。
お問い合わせは、メールで <mail@aobakuminkaigi.com>
または広報相談係(区民会議事務局)へ ☎045-978-2221